

三島町2050ゼロカーボン宣言

近年、温室効果ガスの人為的排出を原因とする地球温暖化に伴った気候変動により、世界各地で自然災害の激甚化などの影響を及ぼしており、こうした温室効果ガスの排出量削減と吸収量確保を目指す国際的な取り組みも進んでいます。

三島町では、予てより編み組細工や会津桐製品などの森林の恵みを活かした伝統文化を継承しながら、木質バイオマスなどの再生可能エネルギー導入を始めとする環境と調和した町づくりに取り組んできましたが、そのような方向性をさらに積極的に推し進めるため、このたび2050年までの町全体の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「三島町ゼロカーボンビジョン」を策定しました。

本ビジョンを掲げ、奥会津地域ならではの豊富な森林資源を活用し、町民と事業者と行政が一体となって、ビジョンの3つの柱である「森林の価値向上」、「省エネなライフスタイル」、「再エネの地産地消」に沿った取り組みを推進し、2050年ゼロカーボン達成を目指すことを宣言します。

令和4年5月26日

三島町長 矢澤 源 成